

第21期末 (2022年12月20日)

|       |         |
|-------|---------|
| 基準価額  | 11,227円 |
| 純資産総額 | 14億円    |
| 騰落率   | △5.2%   |
| 分配金   | 0円      |

# DCニッセイ 国内債券アクティブ

追加型投信／国内／債券

## 運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2021年12月21日～2022年12月20日

第21期 (決算日 2022年12月20日)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「DCニッセイ国内債券アクティブ」は、このたび第21期の決算を行いました。

当ファンドは、「ニッセイ国内債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に国内の公社債に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



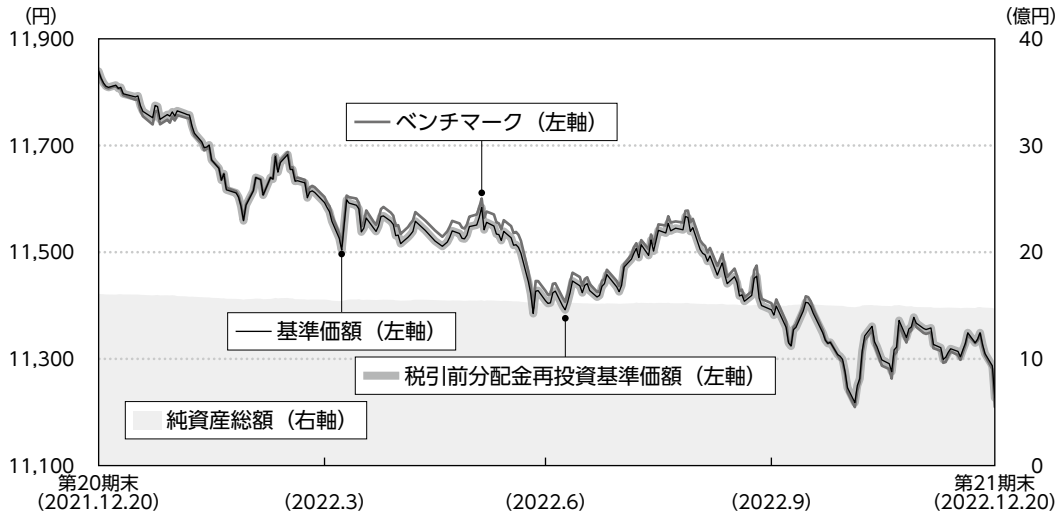
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

## 運用経過

2021年12月21日～2022年12月20日

## 基準価額等の推移



|       |         |                 |       |
|-------|---------|-----------------|-------|
| 第21期首 | 11,839円 | 既払分配金           | 0円    |
| 第21期末 | 11,227円 | 騰落率 (分配金再投資ベース) | △5.2% |

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ベンチマークはNOMUR A-BPI国債で、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。なおベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

## ■基準価額の主な変動要因

### <上昇要因>

- ・2月中旬に金利が大きく低下（債券価格は上昇）したことに加え、ウクライナ情勢の緊迫化等から2月後半はデュレーションの長期化を中心に調整し、その後、金利が低下したこと
- ・5月中旬に米雇用統計後の米金利が上昇する中、金利上昇のピークアウト感が強まったことを受けて、5月後半はデュレーション長期化拡大を基本に調整した中、米景気鈍化懸念が高まり金利が低下したこと
- ・7月中旬に米消費者物価指数（CPI）が上振れたものの米金利の反応は限定的だったため、中旬以降はデュレーション長期化を基本に調整し金利が低下したこと
- ・10月後半から11月中旬にかけて米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げペース緩和の思惑等から、金利が低下したこと

### <下落要因>

- ・1月上旬から2月中旬にかけては、米早期利上げ観測の高まりや日銀内部での金融政策正常化に向けた動きへの思惑などから金利が上昇したこと
- ・3月中旬から3月末にかけて、原油価格の急騰やFRBの一段の金融引き締めに積極的な姿勢から上昇基調となり、月後半にはイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の上限近辺まで金利が上昇したこと
- ・6月に米CPIの上振れからデュレーションを短期化したものの、米国のインフレ指数上振れから海外金利が上昇したことに伴い、国内金利が大幅に上昇したこと
- ・8月中旬以降、インフレ長期化懸念等から主要中央銀行の金融引き締めに積極的な姿勢が改めて意識される中、海外金利が大幅に上昇し、10月後半にかけて国内金利も金利上昇したこと
- ・12月後半の日銀決定会合でイールドカーブ・コントロールのレンジが修正されたことに伴い、金利が大幅に上昇したこと

(注1) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す主要な指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。デュレーションが長いほど、金利変動に対する債券価格の反応は大きくなります。

(注2) イールドカーブとは、債券の償還までの期間（残存年数）ごとの利回りを線で結んだものをいい、通常は残存年数の長い債券ほど利回りが高く（順イールド）なりますが、金利低下が予想される場合には、反対に利回りが低く（逆イールド）なることもあります。イールドカーブ分析とは、一般的に経済情勢や市場動向を反映して金利は変動しますが、すべての債券が同じように変動するとは限らないため、異なる時点のイールドカーブの形状や曲線の傾きなどから債券の割高・割安を判断することをいいます。

## 1万口当たりの費用明細

| 項目     | 第21期 |         | 項目の概要   |
|--------|------|---------|---|
|        | 金額   | 比率      |   |
| 信託報酬   | 61円  | 0.528%  | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$<br>期中の平均基準価額は11,504円です。   |
| (投信会社) | (28) | (0.247) | ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価  |
| (販売会社) | (28) | (0.247) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価                                     |
| (受託会社) | ( 4) | (0.033) | ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価  |
| その他費用  | 1    | 0.009   | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数   |
| (監査費用) | ( 1) | (0.009) | 公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用                        |
| (その他)  | ( 0) | (0.000) | ・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用<br>・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息 |
| 合計     | 62   | 0.537   |   |

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

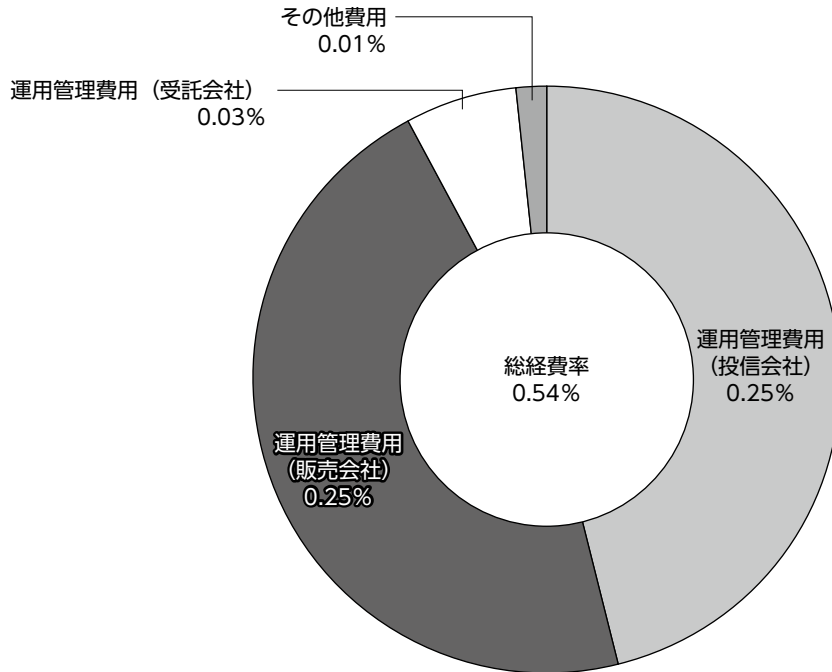
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.54%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 国内債券市況



(注) 10年国債金利はブルームバーグのデータを使用しています。

前期末を0.04%近辺でスタートした10年国債金利は、米早期利上げ観測の高まりや日銀内部での金融正常化に向けた動きへの思惑などから上昇基調で推移しました。2月中旬から3月上旬にかけては、ウクライナ情勢の緊迫化とともに金利は急速に低下しましたが、3月中旬以降に、原油価格の急騰やFRBの一段の金融引き締めに積極的な姿勢から再び金利は上昇基調となり、長期金利はイールドカーブ・コントロールの上限を一時超過しながらおおむねレンジ内で横ばいに推移しました。7月中旬から8月中旬にかけては材料の出尽くし等から内外金利ともに低下しましたが、8月中旬以降は主要中央銀行の金融引き締めに積極的な姿勢が改めて意識される中、海外金利が大幅上昇し、国内金利はイールドカーブ・コントロールの上限を一時超過しながら、おおむねレンジ内で横ばいに推移しました。12月20日に日銀がイールドカーブ・コントロールのレンジ拡大を行ったことが金融市場におけるサプライズとなり、長期金利は大幅に上昇する展開となり、結局、10年国債金利は0.40%近辺で当期末を迎えました。

## ポートフォリオ

### ■当ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率をおおむね高位に保った運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

### ■マザーファンド

国内の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークを中長期的に上回ることを目標にアクティブ運用を行いました。

デュレーションコントロールに加え、銘柄分析、イールドカーブ分析に基づき、ポートフォリオ・マネジャーが運用戦略を決定し、ポートフォリオを構築しました。

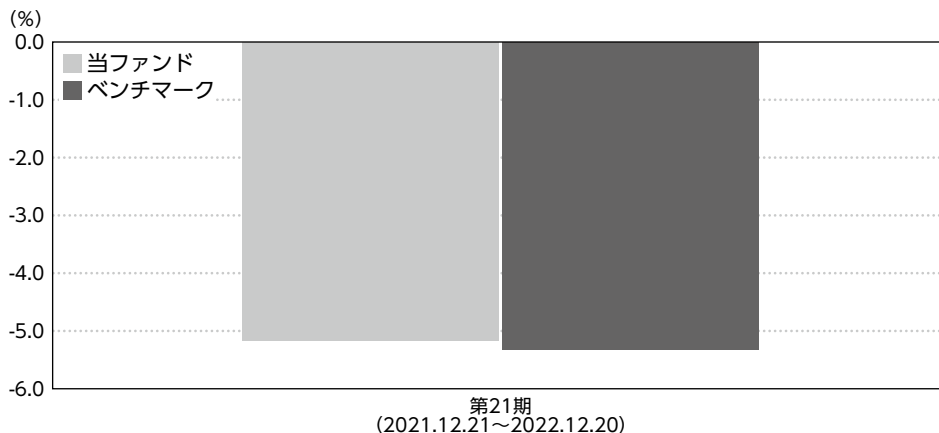
デュレーションは、グローバルなインフレ懸念からFRB等主要中央銀行の金融引き締めに積極的な姿勢を受け短期化を中心に機動的に調整しました。特に3月末以降は長期金利が米金利上昇を受けて上昇し、日銀が設定するレンジ上限の0.25%に近付いたため10年債は長期化を基本に調整した一方、日銀がレンジの上限を設定していない超長期債は短期化を基本に調整しました。

満期構成比はキャリー分析や月次パターン分析などに基づき、キャリー収益（債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益）の最大化をねらった年限選択を基本としますが、当期は当戦略が機能しづらいとの判断から実施を見送りました。

銘柄については期を通じて国債のみを保有しました。

\*ベンチマークはNOMURA-BPI国債です。ベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

## ベンチマークとの差異



当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は-5.2%となり、ベンチマーク騰落率（-5.3%）を上回りました。これはマザーファンドにおける、デュレーション調整の機動的な調整がプラス寄与した影響などによるものです。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## 分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、見送らせていただきました。なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

## 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

| 項目         | 当期<br>2021年12月21日~2022年12月20日 |
|------------|-------------------------------|
| 当期分配金（税引前） | -                             |
| 対基準価額比率    | -                             |
| 当期の収益      | -                             |
| 当期の収益以外    | -                             |
| 翌期繰越分配対象額  | 1,989円                        |

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



# 今後の運用方針

## ■当ファンド

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に国内の公社債に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

## ■マザーファンド

国内長期金利については日銀が10年金利の変動レンジを引き上げたことで、2022年の年末から2023年の年央にかけて金利上昇圧力が高まると想定します。その後、2023年の後半から年末にかけては、日銀の金融政策の正常化がおおむね市場に織り込まれると想定することや欧米諸国の景気後退観測が高まる中、グローバルには徐々に金利低下圧力が高まると考えるため、横ばいから金利低下を想定します。

今後の運用については、引き続き経済情勢や債券市場動向の分析により適切なデュレーション・満期構成比の調整、銘柄選別を行い、ベンチマークを中長期的に上回る収益率を追求します。

デュレーションについては上記環境認識をベースとしつつ、マクロ経済情勢の変化や市場動向の詳細な分析に基づき調整します。

満期構成比についてはイールドカーブ分析に基づく割高・割安状況の変化や投資家動向などを見極めつつ、適切な調整を実施します。

銘柄選択については国債の保有を基本とします。

# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### ■ 組入ファンド

|                 | 第21期末<br>2022年12月20日 |
|-----------------|----------------------|
| ニッセイ国内債券マザーファンド | 100.0%               |

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

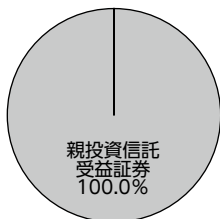
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### ■ 純資産等

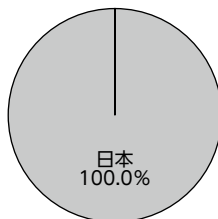
| 項目         | 第21期末<br>2022年12月20日 |
|------------|----------------------|
| 純資産総額      | 1,469,493,744円       |
| 受益権総口数     | 1,308,909,717口       |
| 1万口当たり基準価額 | 11,227円              |

(注) 当期間中における追加設定元本額は114,597,804円、同解約元本額は165,091,807円です。

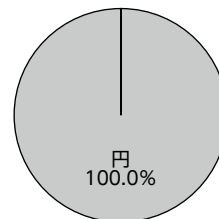
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



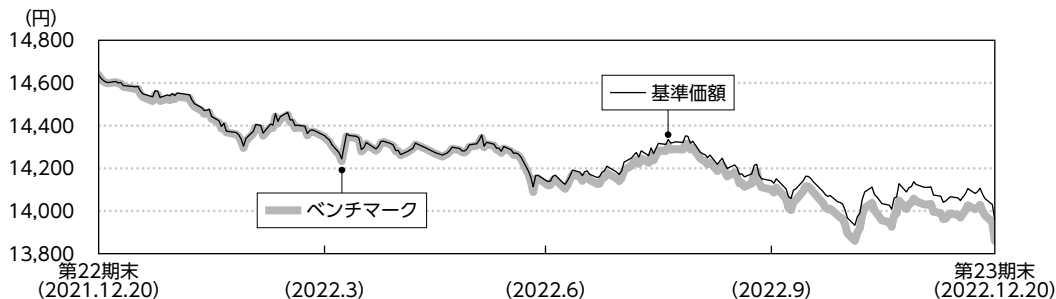
### ■ 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2022年12月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## ニッセイ国内債券マザーファンドの概要

## ■ 基準価額の推移



(注) ベンチマークは前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

## ■ 上位銘柄

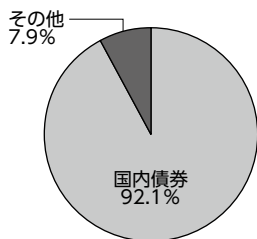
| 銘柄名              | 通貨  | 比率    |
|------------------|-----|-------|
| 第438回 利付国債 (2年)  | 円   | 10.3% |
| 第358回 利付国債 (10年) | 円   | 6.4   |
| 第440回 利付国債 (2年)  | 円   | 6.0   |
| 第146回 利付国債 (5年)  | 円   | 5.5   |
| 第346回 利付国債 (10年) | 円   | 5.3   |
| 第362回 利付国債 (10年) | 円   | 3.5   |
| 第442回 利付国債 (2年)  | 円   | 2.6   |
| 第350回 利付国債 (10年) | 円   | 2.5   |
| 第155回 利付国債 (20年) | 円   | 2.5   |
| 第151回 利付国債 (5年)  | 円   | 2.1   |
| 組入銘柄数            | 110 |       |

## ■ 1万口当たりの費用明細

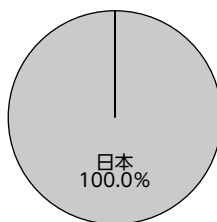
2021.12.21~2022.12.20

| 項目             | 金額        |
|----------------|-----------|
| その他費用<br>(その他) | 0円<br>(0) |
| 合計             | 0         |

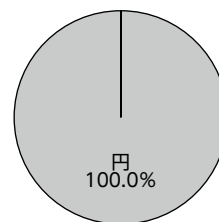
## ■ 資産別配分



## ■ 国別配分



## ■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2022年12月20日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

## DCニッセイ国内債券アクティブ

### 最近5期の運用実績

| 決算期              | 基準価額<br>(分配額) | 税引前<br>分配金 | 期中<br>騰落率 | (ご参考)<br>基準価額+<br>累計分配金 | ベンチマーク | 期中<br>騰落率 | 債券<br>組入比率 | 債券<br>先物比率 | 純資産<br>総額 |
|------------------|---------------|------------|-----------|-------------------------|--------|-----------|------------|------------|-----------|
|                  |               |            |           |                         |        |           |            |            |           |
| 17期(2018年12月20日) | 11,881        | 0          | △0.2      | 11,881                  | 13,634 | 0.8       | 96.2       | 2.4        | 1,811     |
| 18期(2019年12月20日) | 12,019        | 0          | 1.2       | 12,019                  | 13,839 | 1.5       | 95.7       | 2.4        | 1,779     |
| 19期(2020年12月21日) | 11,886        | 0          | △1.1      | 11,886                  | 13,786 | △0.4      | 93.2       | —          | 1,737     |
| 20期(2021年12月20日) | 11,839        | 0          | △0.4      | 11,839                  | 13,798 | 0.1       | 84.4       | —          | 1,609     |
| 21期(2022年12月20日) | 11,227        | 0          | △5.2      | 11,227                  | 13,065 | △5.3      | 92.1       | —          | 1,469     |

(注1) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額(分配額)に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) ベンチマークは設定時を10,000として指数化しています。

(注4) 先物比率は買建比率-売建比率です。以下同じです。

(注5) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

### 当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日             | 基準価額   | 騰落率  | ベンチマーク | 騰落率  | 債券<br>組入比率 | 債券<br>先物比率 |
|-----------------|--------|------|--------|------|------------|------------|
|                 |        |      |        |      |            |            |
| (期首)2021年12月20日 | 11,839 | —    | 13,798 | —    | 84.4       | —          |
| 12月末            | 11,797 | △0.4 | 13,746 | △0.4 | 84.2       | —          |
| 2022年 1 月末      | 11,707 | △1.1 | 13,640 | △1.1 | 89.9       | —          |
| 2 月末            | 11,640 | △1.7 | 13,566 | △1.7 | 89.5       | —          |
| 3 月末            | 11,598 | △2.0 | 13,527 | △2.0 | 97.0       | —          |
| 4 月末            | 11,558 | △2.4 | 13,491 | △2.2 | 97.4       | —          |
| 5 月末            | 11,534 | △2.6 | 13,469 | △2.4 | 98.8       | —          |
| 6 月末            | 11,424 | △3.5 | 13,337 | △3.3 | 96.7       | —          |
| 7 月末            | 11,514 | △2.7 | 13,430 | △2.7 | 98.3       | —          |
| 8 月末            | 11,480 | △3.0 | 13,400 | △2.9 | 94.6       | —          |
| 9 月末            | 11,359 | △4.1 | 13,246 | △4.0 | 93.8       | —          |
| 10月末            | 11,361 | △4.0 | 13,233 | △4.1 | 94.8       | —          |
| 11月末            | 11,303 | △4.5 | 13,163 | △4.6 | 92.1       | —          |
| (期末)2022年12月20日 | 11,227 | △5.2 | 13,065 | △5.3 | 92.1       | —          |

(注) 期末基準価額は分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

2021年12月21日～2022年12月20日

|                 | 設定     |         | 解約      |         |
|-----------------|--------|---------|---------|---------|
|                 | 口数     | 金額      | 口数      | 金額      |
|                 | 千口     | 千円      | 千口      | 千円      |
| ニッセイ国内債券マザーファンド | 92,416 | 131,655 | 138,963 | 198,231 |

(注) 単位未満は切り捨てています。

## 利害関係人との取引状況等

2021年12月21日～2022年12月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

## 親投資信託残高

2022年12月20日現在

| 種類              | 期首 (前期末)  | 当期末       |           |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|
|                 | 口数        | 口数        | 評価額       |
|                 | 千口        | 千口        | 千円        |
| ニッセイ国内債券マザーファンド | 1,099,507 | 1,052,960 | 1,469,511 |

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイ国内債券マザーファンド全体の口数は13,532,003千口です。

## 投資信託財産の構成

2022年12月20日現在

| 項目              | 当期末       |       |
|-----------------|-----------|-------|
|                 | 評価額       | 比率    |
|                 | 千円        | %     |
| ニッセイ国内債券マザーファンド | 1,469,511 | 99.7  |
| コール・ローン等、その他    | 4,099     | 0.3   |
| 投資信託財産総額        | 1,473,610 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## DCニッセイ国内債券アクティブ

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

|                          |  | (2022年12月20日現在)       |
|--------------------------|--|-----------------------|
| 項目                       |  | 当期末                   |
| <b>(A) 資産</b>            |  | <b>1,473,610,717円</b> |
| コール・ローン等                 |  | 3,948,512             |
| ニッセイ国内債券<br>マザーファンド(評価額) |  | 1,469,511,465         |
| 未収入金                     |  | 150,740               |
| <b>(B) 負債</b>            |  | <b>4,116,973</b>      |
| 未払解約金                    |  | 63,572                |
| 未払信託報酬                   |  | 3,984,420             |
| その他未払費用                  |  | 68,981                |
| <b>(C) 純資産総額(A-B)</b>    |  | <b>1,469,493,744</b>  |
| 元本                       |  | 1,308,909,717         |
| 次期繰越損益金                  |  | 160,584,027           |
| <b>(D) 受益権総口数</b>        |  | <b>1,308,909,717口</b> |
| 1万口当たり基準価額(C/D)          |  | 11,227円               |

|           |                |
|-----------|----------------|
| (注) 期首元本額 | 1,359,403,720円 |
| 期中追加設定元本額 | 114,597,804円   |
| 期中一部解約元本額 | 165,091,807円   |

### 損益の状況

|                         |  | 当期 (2021年12月21日~2022年12月20日) |
|-------------------------|--|------------------------------|
| 項目                      |  | 当期                           |
| <b>(A) 配当等収益</b>        |  | <b>△ 973円</b>                |
| 受取利息                    |  | 49                           |
| 支払利息                    |  | △ 1,022                      |
| <b>(B) 有価証券売買損益</b>     |  | <b>△ 68,042,879</b>          |
| 売買益                     |  | 4,576,747                    |
| 売買損                     |  | △ 72,619,626                 |
| <b>(C) 信託報酬等</b>        |  | <b>△ 8,239,130</b>           |
| <b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b> |  | <b>△ 76,282,982</b>          |
| <b>(E) 前期繰越損益金</b>      |  | <b>31,890,022</b>            |
| (分配準備積立金)               |  | ( 51,039,823)                |
| (繰越欠損金)                 |  | (△ 19,149,801)               |
| <b>(F) 追加信託差損益金*</b>    |  | <b>204,976,987</b>           |
| (配当等相当額)                |  | ( 209,392,491)               |
| (売買損益相当額)               |  | (△ 4,415,504)                |
| <b>(G) 合計(D+E+F)</b>    |  | <b>160,584,027</b>           |
| <b>次期繰越損益金(G)</b>       |  | <b>160,584,027</b>           |
| 追加信託差損益金                |  | 204,976,987                  |
| (配当等相当額)                |  | ( 209,392,491)               |
| (売買損益相当額)               |  | (△ 4,415,504)                |
| 分配準備積立金                 |  | 51,039,823                   |
| 繰越欠損金                   |  | △ 95,432,783                 |

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

### 分配金の計算過程

| 項目                  | 当期           |
|---------------------|--------------|
| (a) 経費控除後の配当等収益     | 0円           |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 0円           |
| (c) 信託約款に定める収益調整金   | 209,392,491円 |
| (d) 信託約款に定める分配準備積立金 | 51,039,823円  |
| (e) 分配対象額(a+b+c+d)  | 260,432,314円 |
| (f) 分配対象額(1万口当たり)   | 1,989.69円    |
| (g) 分配金             | 0円           |
| (h) 分配金(1万口当たり)     | 0円           |

# お知らせ

## ■運用体制の変更について

運用部門については、CO-CIO（取締役執行役員、統括部長）の2名体制からCIO（取締役執行役員）1名とCO-CIO（統括部長）1名の体制に変更しました。

新たにCIOが就任し、従来のCO-CIOのうちの1名（統括部長）が、引き続きCO-CIOを務めています。

(2022年3月25日)

# 当ファンドの概要

|         |  |  |
|---------|--|--|
| 商 品 分 類 | 追加型投信／国内／債券  |  |
| 信 託 期 間 | 無期限  |  |
| 運 用 方 針 | ニッセイ国内債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に国内の公社債に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。 |  |
| 主要運用対象  | DCニッセイ国内債券アクティブ  | ニッセイ国内債券マザーファンド受益証券  |
|         | ニッセイ国内債券マザーファンド  | 国内の公社債   |
| 運用方法    | DCニッセイ国内債券アクティブ  | 以下の様な投資制限のもと運用を行います。<br>・株式への投資は転換社債の転換および新株予約権の行使による取得に限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。<br>・外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 |
|         | ニッセイ国内債券マザーファンド  | 以下の様な投資制限のもと運用を行います。<br>・外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。  |
| 分 配 方 針 | 毎決算時に、原則として諸経費等控除後の売買益および配当・利子等収益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。            |  |

# ニッセイ国内債券マザーファンド

## 運用報告書

第 23 期

(計算期間：2021年12月21日～2022年12月20日)

|      |  |        |   |
|------|--|--------|---|
| 運用方針 | ①国内の公社債を主要投資対象とし、NOMURA-BPI国債をベンチマークとして、これを中長期的に上回ることを目標にアクティブ運用を行います。     | 主要運用対象 | 国内の公社債  |
|      | ②デュレーションコントロールに加え、銘柄分析、イールドカーブ分析に基づき、ポートフォリオ・マネジャーが運用戦略を決定し、ポートフォリオを構築します。 | 運用方法   | 以下の様な投資制限のもと運用を行います。<br>・外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 |



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6



## 運用経過

2021年12月21日～2022年12月20日

## 国内債券市況

【10年国債金利の推移】

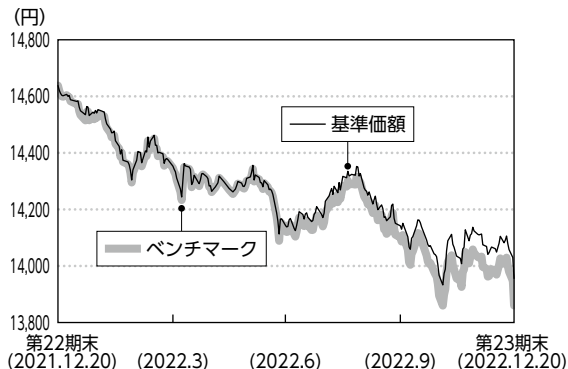


(注) 10年国債金利はブルームバーグのデータを使用しています。

前期末を0.04%近辺でスタートした10年国債金利は、米早期利上げ観測の高まりや日銀内部での金融正常化に向けた動きへの思惑などから上昇基調で推移しました。2月中旬から3月上旬にかけては、ウクライナ情勢の緊迫化とともに金利は急速に低下しましたが、3月中旬以降に、原油価格の急騰やFRBの一段の金融引き締めに積極的な姿勢から再び金利は上昇基調となり、長期金利はイールドカーブ・コントロールの上限を一時超過しながらおおむねレンジ内で横ばいに推移しました。7月中旬から8月中旬にかけては材料の出尽くし等から内外金利ともに低下しましたが、8月中旬以降は主要中央銀行の金融引き締めに積極的な姿勢が改めて意識される中、海外金利が大幅上昇し、国内金利はイールドカーブ・コントロールの上限を一時超過しながら、おおむねレンジ内で横ばいに推移しました。12月20日に日銀がイールドカーブ・コントロールのレンジ拡大を行ったことが金融市場におけるサプライズとなり、長期金利は大幅に上昇する展開となり、結局、10年国債金利は0.40%近辺で当期末を迎えました。

(注) イールドカーブとは、債券の償還までの期間(残存年数)ごとの利回りを線で結んだものをいい、通常は残存年数の長い債券ほど利回りが高く(順イールド)なりますが、金利低下が予想される場合には、反対に利回りが低く(逆イールド)なることもあります。イールドカーブ分析とは、一般的に経済情勢や市場動向を反映して金利は変動しますが、すべての債券が同じように変動するとは限らないため、異なる時点のイールドカーブの形状や曲線の傾きなどから債券の割高・割安を判断することをいいます。

## 基準価額等の推移



(注) ベンチマークは前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

### ■基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

- ・ 2月中旬に金利が大きく低下（債券価格は上昇）したことに加え、ウクライナ情勢の緊迫化等から2月後半はデュレーションの長期化を中心に調整し、その後、金利が低下したこと
- ・ 5月中旬に米雇用統計後の米金利が上昇する中、金利上昇のピークアウト感が強まったことを受けて、5月後半はデュレーション長期化拡大を基本に調整した中、米景気鈍化懸念が高まり金利が低下したこと
- ・ 7月中旬に米消費者物価指数（CPI）が上振れたものの米金利の反応は限定的だったため、中旬以降はデュレーション長期化を基本に調整し金利が低下したこと
- ・ 10月後半から11月中旬にかけて米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げペース緩和の思惑等から、金利が低下したこと

#### <下落要因>

- ・ 1月上旬から2月中旬にかけては、米早期利上げ観測の高まりや日銀内部での金融政策正常化に向けた動きへの思惑などから金利が上昇したこと
- ・ 3月中旬から3月末にかけて、原油価格の急騰やFRBの一段の金融引き締めに積極的な姿勢から上昇基調となり、月後半にはイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の上限近辺まで金利が上昇したこと
- ・ 6月に米CPIの上振れからデュレーションを短期化したものの、米国のインフレ指数上振れから海外金利が上昇したことに伴い、国内金利が大幅に上昇したこと
- ・ 8月中旬以降、インフレ長期化懸念等から主要中央銀行の金融引き締めに積極的な姿勢が改めて意識される中、海外金利が大幅に上昇し、10月後半にかけて国内金利も金利上昇したこと
- ・ 12月後半の日銀決定会合でイールドカーブ・コントロールのレンジが修正されたことに伴い、金利が大幅に上昇したこと

(注) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す主要な指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。デュレーションが長いほど、金利変動に対する債券価格の反応は大きくなります。

### ポートフォリオ

国内の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークを中長期的に上回ることを目標にアクティブ運用を行いました。

デュレーションコントロールに加え、銘柄分析、イールドカーブ分析に基づき、ポートフォリオ・マネジャーが運用戦略を決定し、ポートフォリオを構築しました。

デュレーションは、グローバルなインフレ懸念からFRB等主要中央銀行の金融引き締めにより積極的な姿勢を受け短期化を中心に機動的に調整しました。特に3月末以降は長期金利が米金利上昇を受けて上昇し、日銀が設定するレンジ上限の0.25%に近付いたため10年債は長期化を基本に調整した一方、日銀がレンジの上限を設定していない超長期債は短期化を基本に調整しました。

満期構成比はキャリー分析や月次パターン分析などに基づき、キャリー収益（債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益）の最大化をねらった年限選択を基本としますが、当期は当戦略が機能しづらいとの判断から実施を見送りました。

銘柄については期を通じて国債のみを保有しました。

### ベンチマークとの差異

当期の基準価額騰落率は-4.7%となり、ベンチマーク騰落率（-5.3%）を上回りました。

主に6月や10月の金利上昇局面でベンチマーク対比のデュレーションを短期化していたことがプラス寄与し、ベンチマーク対比プラス寄与となりました。

## 今後の運用方針

国内長期金利については日銀が10年金利の変動レンジを引き上げたことで、2022年の年末から2023年の年末にかけて金利上昇圧力が高まると想定します。その後、2023年の後半から年末にかけては、日銀の金融政策の正常化がおおむね市場に織り込まれると想定することや欧米諸国の景気後退観測が高まる中、グローバルには徐々に金利低下圧力が高まると考えるため、横ばいから金利低下を想定します。

今後の運用については、引き続き経済情勢や債券市場動向の分析により適切なデュレーション・満期構成比の調整、銘柄選別を行い、ベンチマークを中長期的に上回る収益率を追求します。

デュレーションについては上記環境認識をベースとしつつ、マクロ経済情勢の変化や市場動向の詳細な分析に基づき調整します。

満期構成比についてはイールドカーブ分析に基づく割高・割安状況の変化や投資家動向などを見極めつつ、適切な調整を実施します。

銘柄選択については国債の保有を基本とします。

## ニッセイ国内債券マザーファンド

### 最近5期の運用実績

| 決算期              | 基準価額   | 期中騰落率 | ベンチマーク | 期中騰落率 | 債券組入比率 | 債券先物比率 | 純資産総額  |
|------------------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|
|                  |        |       |        |       |        |        |        |
| 19期(2018年12月20日) | 14,425 | 0.6   | 14,341 | 0.8   | 96.2   | 2.4    | 18,911 |
| 20期(2019年12月20日) | 14,702 | 1.9   | 14,558 | 1.5   | 95.7   | 2.4    | 18,917 |
| 21期(2020年12月21日) | 14,618 | △0.6  | 14,502 | △0.4  | 93.2   | —      | 18,473 |
| 22期(2021年12月20日) | 14,638 | 0.1   | 14,515 | 0.1   | 84.4   | —      | 19,056 |
| 23期(2022年12月20日) | 13,956 | △4.7  | 13,743 | △5.3  | 92.1   | —      | 18,884 |

(注1) ベンチマークは設定時を10,000として指数化しています。

(注2) 先物比率は買建比率－売建比率です。以下同じです。

### 当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日             | 基準価額   | 騰落率  | ベンチマーク | 騰落率  | 債券組入比率 | 債券先物比率 |
|-----------------|--------|------|--------|------|--------|--------|
|                 |        |      |        |      |        |        |
| (期首)2021年12月20日 | 14,638 | —    | 14,515 | —    | 84.4   | —      |
| 12月末            | 14,588 | △0.3 | 14,460 | △0.4 | 84.2   | —      |
| 2022年1月末        | 14,484 | △1.1 | 14,348 | △1.1 | 89.9   | —      |
| 2月末             | 14,407 | △1.6 | 14,271 | △1.7 | 89.5   | —      |
| 3月末             | 14,362 | △1.9 | 14,229 | △2.0 | 96.9   | —      |
| 4月末             | 14,318 | △2.2 | 14,191 | △2.2 | 97.4   | —      |
| 5月末             | 14,295 | △2.3 | 14,168 | △2.4 | 98.8   | —      |
| 6月末             | 14,165 | △3.2 | 14,030 | △3.3 | 96.7   | —      |
| 7月末             | 14,282 | △2.4 | 14,127 | △2.7 | 98.3   | —      |
| 8月末             | 14,247 | △2.7 | 14,095 | △2.9 | 94.6   | —      |
| 9月末             | 14,104 | △3.6 | 13,933 | △4.0 | 93.8   | —      |
| 10月末            | 14,112 | △3.6 | 13,920 | △4.1 | 94.8   | —      |
| 11月末            | 14,047 | △4.0 | 13,847 | △4.6 | 92.1   | —      |
| (期末)2022年12月20日 | 13,956 | △4.7 | 13,743 | △5.3 | 92.1   | —      |

(注) 騰落率は期首比です。

## ニッセイ国内債券マザーファンド

### 1 万口当たりの費用明細

2021年12月21日～2022年12月20日

| 項目    | 当期  |         | 項目の概要   |
|-------|-----|---------|---|
|       | 金額  | 比率      |   |
| その他費用 | 0円  | 0.000%  | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数   |
| (その他) | (0) | (0.000) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul> |
| 合計    | 0   | 0.000   |   |

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（14,263円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

### 売買および取引の状況

2021年12月21日～2022年12月20日

#### 公社債

|    |      | 買付額               | 売付額                               |
|----|------|-------------------|-----------------------------------|
| 国内 | 国債証券 | 千円<br>109,117,401 | 千円<br>105,654,156<br>( 1,156,900) |

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ( ) 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

## 主要な売買銘柄

2021年12月21日～2022年12月20日

## 公社債

| 買付               |            | 売付               |            |
|------------------|------------|------------------|------------|
| 銘柄               | 金額         | 銘柄               | 金額         |
|                  | 千円         |                  | 千円         |
| 第432回 利付国債 (2年)  | 14,652,642 | 第432回 利付国債 (2年)  | 14,652,387 |
| 第437回 利付国債 (2年)  | 12,648,390 | 第437回 利付国債 (2年)  | 12,420,713 |
| 第425回 利付国債 (2年)  | 10,761,199 | 第425回 利付国債 (2年)  | 10,949,976 |
| 第365回 利付国債 (10年) | 4,882,321  | 第365回 利付国債 (10年) | 4,863,245  |
| 第438回 利付国債 (2年)  | 4,305,564  | 第356回 利付国債 (10年) | 3,379,437  |
| 第356回 利付国債 (10年) | 3,636,868  | 第355回 利付国債 (10年) | 3,339,196  |
| 第355回 利付国債 (10年) | 3,362,482  | 第180回 利付国債 (20年) | 3,277,128  |
| 第180回 利付国債 (20年) | 3,278,692  | 第179回 利付国債 (20年) | 2,666,036  |
| 第367回 利付国債 (10年) | 2,679,981  | 第357回 利付国債 (10年) | 2,520,738  |
| 第179回 利付国債 (20年) | 2,678,047  | 第367回 利付国債 (10年) | 2,467,268  |

(注1) 金額は受渡代金です (経過利子分は含まれていません)。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

## 組入有価証券明細表

2022年12月20日現在

## 国内 (邦貨建) 公社債

| 区分   | 当期末                        |                            |                |                 |                |                |                |
|------|----------------------------|----------------------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|
|      | 額面金額                       | 評価額                        | 組入比率           | うちBB格以下<br>組入比率 | 残存期間別組入比率      |                |                |
|      |                            |                            |                |                 | 5年以上           | 2年以上           | 2年未満           |
|      | 千円                         | 千円                         | %              | %               | %              | %              | %              |
| 国債証券 | 17,545,700<br>(10,917,400) | 17,397,518<br>(10,566,392) | 92.1<br>(56.0) | —               | 56.6<br>(26.7) | 13.2<br>( 7.6) | 22.3<br>(21.6) |
| 合計   | 17,545,700<br>(10,917,400) | 17,397,518<br>(10,566,392) | 92.1<br>(56.0) | —               | 56.6<br>(26.7) | 13.2<br>( 7.6) | 22.3<br>(21.6) |

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ( ) 内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

## ニッセイ国内債券マザーファンド

### (国内公社債の内訳)

| 債券種別 | 銘柄名              | 利率     | 償還年月日      | 額面金額      | 評価額       |
|------|------------------|--------|------------|-----------|-----------|
|      |                  | %      |            | 千円        | 千円        |
| 国債証券 | 第420回 利付国債 (2年)  | 0.1000 | 2023/1/1   | 17,400    | 17,401    |
|      | 第421回 利付国債 (2年)  | 0.1000 | 2023/2/1   | 25,900    | 25,905    |
|      | 第427回 利付国債 (2年)  | 0.0050 | 2023/8/1   | 24,800    | 24,822    |
|      | 第433回 利付国債 (2年)  | 0.0050 | 2024/2/1   | 165,000   | 165,100   |
|      | 第437回 利付国債 (2年)  | 0.0050 | 2024/6/1   | 225,800   | 225,897   |
|      | 第438回 利付国債 (2年)  | 0.0050 | 2024/7/1   | 1,943,400 | 1,943,983 |
|      | 第439回 利付国債 (2年)  | 0.0050 | 2024/8/1   | 51,400    | 51,412    |
|      | 第440回 利付国債 (2年)  | 0.0050 | 2024/9/1   | 1,141,300 | 1,141,482 |
|      | 第442回 利付国債 (2年)  | 0.0050 | 2024/11/1  | 486,400   | 486,443   |
|      | 第143回 利付国債 (5年)  | 0.1000 | 2025/3/20  | 8,000     | 8,015     |
|      | 第146回 利付国債 (5年)  | 0.1000 | 2025/12/20 | 1,030,700 | 1,033,008 |
|      | 第151回 利付国債 (5年)  | 0.0050 | 2027/3/20  | 394,400   | 392,483   |
|      | 第1回 利付国債 (40年)   | 2.4000 | 2048/3/20  | 7,900     | 9,524     |
|      | 第7回 利付国債 (40年)   | 1.7000 | 2054/3/20  | 2,100     | 2,168     |
|      | 第8回 利付国債 (40年)   | 1.4000 | 2055/3/20  | 3,400     | 3,251     |
|      | 第12回 利付国債 (40年)  | 0.5000 | 2059/3/20  | 23,900    | 16,844    |
|      | 第13回 利付国債 (40年)  | 0.5000 | 2060/3/20  | 10,600    | 7,411     |
|      | 第14回 利付国債 (40年)  | 0.7000 | 2061/3/20  | 45,700    | 34,196    |
|      | 第15回 利付国債 (40年)  | 1.0000 | 2062/3/20  | 132,600   | 108,202   |
|      | 第330回 利付国債 (10年) | 0.8000 | 2023/9/20  | 132,000   | 132,924   |
|      | 第337回 利付国債 (10年) | 0.3000 | 2024/12/20 | 800       | 804       |
|      | 第339回 利付国債 (10年) | 0.4000 | 2025/6/20  | 45,700    | 46,138    |
|      | 第346回 利付国債 (10年) | 0.1000 | 2027/3/20  | 1,000,000 | 999,150   |
|      | 第348回 利付国債 (10年) | 0.1000 | 2027/9/20  | 600       | 598       |
|      | 第350回 利付国債 (10年) | 0.1000 | 2028/3/20  | 480,500   | 476,891   |
|      | 第353回 利付国債 (10年) | 0.1000 | 2028/12/20 | 500       | 494       |
|      | 第354回 利付国債 (10年) | 0.1000 | 2029/3/20  | 152,600   | 150,774   |
|      | 第356回 利付国債 (10年) | 0.1000 | 2029/9/20  | 269,300   | 265,298   |
|      | 第358回 利付国債 (10年) | 0.1000 | 2030/3/20  | 1,228,800 | 1,204,113 |
|      | 第359回 利付国債 (10年) | 0.1000 | 2030/6/20  | 900       | 880       |
|      | 第360回 利付国債 (10年) | 0.1000 | 2030/9/20  | 118,800   | 115,990   |
|      | 第361回 利付国債 (10年) | 0.1000 | 2030/12/20 | 202,000   | 196,921   |
|      | 第362回 利付国債 (10年) | 0.1000 | 2031/3/20  | 672,300   | 654,631   |
|      | 第363回 利付国債 (10年) | 0.1000 | 2031/6/20  | 174,800   | 170,001   |
|      | 第366回 利付国債 (10年) | 0.2000 | 2032/3/20  | 14,800    | 14,601    |
|      | 第367回 利付国債 (10年) | 0.2000 | 2032/6/20  | 212,300   | 208,510   |
|      | 第29回 利付国債 (30年)  | 2.4000 | 2038/9/20  | 103,600   | 125,119   |
|      | 第30回 利付国債 (30年)  | 2.3000 | 2039/3/20  | 9,600     | 11,439    |
|      | 第34回 利付国債 (30年)  | 2.2000 | 2041/3/20  | 158,100   | 185,511   |
|      | 第37回 利付国債 (30年)  | 1.9000 | 2042/9/20  | 94,200    | 105,568   |
|      | 第38回 利付国債 (30年)  | 1.8000 | 2043/3/20  | 38,800    | 42,765    |

## ニッセイ国内債券マザーファンド

| 債券種別 | 銘柄名              | 利率     | 償還年月日      | 額面金額    | 評価額     |
|------|------------------|--------|------------|---------|---------|
|      |                  | %      |            | 千円      | 千円      |
| 国債証券 | 第40回 利付国債 (30年)  | 1.8000 | 2043/9/20  | 77,100  | 84,854  |
|      | 第42回 利付国債 (30年)  | 1.7000 | 2044/3/20  | 92,700  | 100,122 |
|      | 第43回 利付国債 (30年)  | 1.7000 | 2044/6/20  | 159,800 | 172,421 |
|      | 第44回 利付国債 (30年)  | 1.7000 | 2044/9/20  | 168,500 | 181,619 |
|      | 第46回 利付国債 (30年)  | 1.5000 | 2045/3/20  | 111,700 | 115,854 |
|      | 第49回 利付国債 (30年)  | 1.4000 | 2045/12/20 | 48,900  | 49,545  |
|      | 第50回 利付国債 (30年)  | 0.8000 | 2046/3/20  | 42,300  | 37,716  |
|      | 第54回 利付国債 (30年)  | 0.8000 | 2047/3/20  | 800     | 703     |
|      | 第55回 利付国債 (30年)  | 0.8000 | 2047/6/20  | 127,900 | 112,163 |
|      | 第56回 利付国債 (30年)  | 0.8000 | 2047/9/20  | 157,600 | 137,688 |
|      | 第57回 利付国債 (30年)  | 0.8000 | 2047/12/20 | 13,600  | 11,847  |
|      | 第58回 利付国債 (30年)  | 0.8000 | 2048/3/20  | 66,700  | 57,885  |
|      | 第59回 利付国債 (30年)  | 0.7000 | 2048/6/20  | 44,900  | 37,890  |
|      | 第60回 利付国債 (30年)  | 0.9000 | 2048/9/20  | 60,100  | 53,056  |
|      | 第62回 利付国債 (30年)  | 0.5000 | 2049/3/20  | 31,400  | 24,877  |
|      | 第63回 利付国債 (30年)  | 0.4000 | 2049/6/20  | 121,500 | 93,327  |
|      | 第64回 利付国債 (30年)  | 0.4000 | 2049/9/20  | 29,400  | 22,496  |
|      | 第66回 利付国債 (30年)  | 0.4000 | 2050/3/20  | 128,700 | 98,648  |
|      | 第67回 利付国債 (30年)  | 0.6000 | 2050/6/20  | 73,900  | 59,054  |
|      | 第69回 利付国債 (30年)  | 0.7000 | 2050/12/20 | 16,900  | 13,785  |
|      | 第70回 利付国債 (30年)  | 0.7000 | 2051/3/20  | 361,300 | 293,758 |
|      | 第73回 利付国債 (30年)  | 0.7000 | 2051/12/20 | 23,100  | 18,667  |
|      | 第74回 利付国債 (30年)  | 1.0000 | 2052/3/20  | 8,600   | 7,526   |
|      | 第75回 利付国債 (30年)  | 1.3000 | 2052/6/20  | 61,500  | 58,269  |
|      | 第76回 利付国債 (30年)  | 1.4000 | 2052/9/20  | 339,100 | 327,407 |
|      | 第92回 利付国債 (20年)  | 2.1000 | 2026/12/20 | 17,300  | 18,681  |
|      | 第99回 利付国債 (20年)  | 2.1000 | 2027/12/20 | 28,600  | 31,288  |
|      | 第102回 利付国債 (20年) | 2.4000 | 2028/6/20  | 49,600  | 55,396  |
|      | 第107回 利付国債 (20年) | 2.1000 | 2028/12/20 | 15,300  | 16,957  |
|      | 第109回 利付国債 (20年) | 1.9000 | 2029/3/20  | 70,900  | 77,948  |
|      | 第110回 利付国債 (20年) | 2.1000 | 2029/3/20  | 79,400  | 88,267  |
|      | 第112回 利付国債 (20年) | 2.1000 | 2029/6/20  | 37,800  | 42,148  |
|      | 第113回 利付国債 (20年) | 2.1000 | 2029/9/20  | 24,200  | 27,063  |
|      | 第114回 利付国債 (20年) | 2.1000 | 2029/12/20 | 6,500   | 7,291   |
|      | 第117回 利付国債 (20年) | 2.1000 | 2030/3/20  | 1,500   | 1,684   |
|      | 第118回 利付国債 (20年) | 2.0000 | 2030/6/20  | 200,000 | 223,532 |
|      | 第123回 利付国債 (20年) | 2.1000 | 2030/12/20 | 40,300  | 45,626  |
|      | 第134回 利付国債 (20年) | 1.8000 | 2032/3/20  | 19,200  | 21,595  |
|      | 第136回 利付国債 (20年) | 1.6000 | 2032/3/20  | 400     | 442     |
|      | 第138回 利付国債 (20年) | 1.5000 | 2032/6/20  | 6,100   | 6,710   |
|      | 第139回 利付国債 (20年) | 1.6000 | 2032/6/20  | 95,500  | 105,935 |
|      | 第143回 利付国債 (20年) | 1.6000 | 2033/3/20  | 203,200 | 225,529 |



## ニッセイ国内債券マザーファンド

| 債券種別              | 銘柄名              | 利率        | 償還年月日      | 額面金額    | 評価額        |
|-------------------|------------------|-----------|------------|---------|------------|
|                   |                  |           |            | 千円      | 千円         |
| 国債証券              | 第144回 利付国債 (20年) | 1.5000    | 2033/3/20  | 237,500 | 261,278    |
|                   | 第146回 利付国債 (20年) | 1.7000    | 2033/9/20  | 108,000 | 120,971    |
|                   | 第147回 利付国債 (20年) | 1.6000    | 2033/12/20 | 312,600 | 346,817    |
|                   | 第151回 利付国債 (20年) | 1.2000    | 2034/12/20 | 130,900 | 138,912    |
|                   | 第152回 利付国債 (20年) | 1.2000    | 2035/3/20  | 81,100  | 85,963     |
|                   | 第154回 利付国債 (20年) | 1.2000    | 2035/9/20  | 106,800 | 112,851    |
|                   | 第155回 利付国債 (20年) | 1.0000    | 2035/12/20 | 461,200 | 475,414    |
|                   | 第157回 利付国債 (20年) | 0.2000    | 2036/6/20  | 900     | 832        |
|                   | 第159回 利付国債 (20年) | 0.6000    | 2036/12/20 | 8,100   | 7,851      |
|                   | 第160回 利付国債 (20年) | 0.7000    | 2037/3/20  | 45,000  | 44,086     |
|                   | 第161回 利付国債 (20年) | 0.6000    | 2037/6/20  | 160,400 | 154,426    |
|                   | 第162回 利付国債 (20年) | 0.6000    | 2037/9/20  | 318,700 | 305,652    |
|                   | 第163回 利付国債 (20年) | 0.6000    | 2037/12/20 | 200     | 191        |
|                   | 第164回 利付国債 (20年) | 0.5000    | 2038/3/20  | 72,500  | 67,974     |
|                   | 第165回 利付国債 (20年) | 0.5000    | 2038/6/20  | 176,000 | 164,412    |
|                   | 第166回 利付国債 (20年) | 0.7000    | 2038/9/20  | 262,200 | 251,667    |
|                   | 第168回 利付国債 (20年) | 0.4000    | 2039/3/20  | 76,100  | 69,091     |
|                   | 第169回 利付国債 (20年) | 0.3000    | 2039/6/20  | 4,400   | 3,911      |
|                   | 第171回 利付国債 (20年) | 0.3000    | 2039/12/20 | 155,000 | 136,558    |
|                   | 第172回 利付国債 (20年) | 0.4000    | 2040/3/20  | 127,400 | 113,731    |
|                   | 第173回 利付国債 (20年) | 0.4000    | 2040/6/20  | 130,900 | 116,430    |
|                   | 第174回 利付国債 (20年) | 0.4000    | 2040/9/20  | 700     | 619        |
|                   | 第176回 利付国債 (20年) | 0.5000    | 2041/3/20  | 137,600 | 123,091    |
|                   | 第177回 利付国債 (20年) | 0.4000    | 2041/6/20  | 1,900   | 1,663      |
| 第181回 利付国債 (20年)  | 0.9000           | 2042/6/20 | 115,700    | 109,954 |            |
| 第182回 利付国債 (20年)  | 1.1000           | 2042/9/20 | 56,400     | 55,322  |            |
| 第24回 物価連動国債 (10年) | 0.1000           | 2029/3/10 | 142,000    | 153,859 |            |
| 合計                |                  | -         | -          | -       | 17,397,518 |

### 投資信託財産の構成

2022年12月20日現在

| 項目           | 当期末              |           |
|--------------|------------------|-----------|
|              | 評価額              | 比率        |
| 公社債          | 千円<br>17,397,518 | %<br>89.7 |
| コール・ローン等、その他 | 1,995,813        | 10.3      |
| 投資信託財産総額     | 19,393,332       | 100.0     |

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## ニッセイ国内債券マザーファンド

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年12月20日現在)

| 項目                    | 当期末                    |
|-----------------------|------------------------|
| <b>(A) 資産</b>         | <b>19,393,332,329円</b> |
| コーポレート債(評価額)          | 1,487,808,534          |
| 未収入金                  | 17,397,518,422         |
| 未収利息                  | 493,907,204            |
| 前払費用                  | 10,663,576             |
| <b>(B) 負債</b>         | <b>508,612,456</b>     |
| 未払金                   | 495,352,317            |
| 未払解約金                 | 13,257,824             |
| その他未払費用               | 2,315                  |
| <b>(C) 純資産総額(A-B)</b> | <b>18,884,719,873</b>  |
| 元本                    | 13,532,003,859         |
| 次期繰越損益金               | 5,352,716,014          |
| <b>(D) 受益権総口数</b>     | <b>13,532,003,859口</b> |
| 1万口当たり基準価額(C/D)       | 13,956円                |

(注1) 期首元本額 13,018,271,308円  
 期中追加設定元本額 2,687,980,503円  
 期中一部解約元本額 2,174,247,952円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

|   |                |
|---|----------------|
| ニッセイ/パトナム・グローバルバランスオープン(債券重視型)            | 452,547,068円   |
| ニッセイ/パトナム・グローバルバランスオープン(標準型)              | 343,052,838円   |
| ニッセイ/パトナム・グローバルバランスオープン(株式重視型)            | 58,000,941円    |
| ニッセイ/パトナム・グローバルバランスオープン(標準型)VA(適格機関投資家専用) | 30,233,312円    |
| ニッセイ/パトナム・グローバルバランス(債券重視型)SA(適格機関投資家限定)   | 1,100,894,869円 |
| ニッセイ/パトナム・グローバルバランス(標準型)SA(適格機関投資家限定)     | 1,851,668,828円 |
| ニッセイ/パトナム・グローバルバランス(株式重視型)SA(適格機関投資家限定)   | 324,346,143円   |
| DCニッセイ/パトナム・グローバルバランス(債券重視型)              | 2,417,144,559円 |
| DCニッセイ/パトナム・グローバルバランス(標準型)                | 4,394,458,826円 |
| DCニッセイ/パトナム・グローバルバランス(株式重視型)              | 1,258,674,988円 |
| DCニッセイ国内債券アクティブ                           | 1,052,960,351円 |
| ニッセイ/パトナム・グローバルバランス(成長型)SA(適格機関投資家限定)     | 58,476,305円    |
| DCニッセイバランスアクティブ                           | 189,544,831円   |

### 損益の状況

当期(2021年12月21日~2022年12月20日)

| 項目                      | 当期                   |
|-------------------------|----------------------|
| <b>(A) 配当等収益</b>        | <b>98,806,606円</b>   |
| 受取利息                    | 99,452,898           |
| 支払利息                    | △ 646,292            |
| <b>(B) 有価証券売買損益</b>     | <b>△ 994,950,347</b> |
| 売買益                     | 141,452,504          |
| 売買損                     | △ 1,136,402,851      |
| <b>(C) 信託報酬等</b>        | <b>△ 27,645</b>      |
| <b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b> | <b>△ 896,171,386</b> |
| <b>(E) 前期繰越損益金</b>      | <b>6,038,327,960</b> |
| <b>(F) 追加信託差損益金</b>     | <b>1,141,940,117</b> |
| <b>(G) 解約差損益金</b>       | <b>△ 931,380,677</b> |
| <b>(H) 合計(D+E+F+G)</b>  | <b>5,352,716,014</b> |
| 次期繰越損益金(H)              | 5,352,716,014        |

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

## 指数に関して

### ■ファンドのベンチマーク等について

- ・NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、日本国内で発行される国債の流通市場動向を的確に表すために、野村証券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数であり、その知的財産は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切の責任を負うものではありません。